

令和 6 年第 3 回市議会定例会が開催されるに当たり、市政の諸課題をはじめ提案いたしました議案について、その概要を御説明申し上げます。

はじめに、先月 16 日、敦賀の夏の風物詩である「とうろう流しと大花火大会」を、6 年ぶりに開催することができました。

今年は、「かがやきの、その先へー敦賀と未来をつなぐ光ー」をテーマに、北陸新幹線敦賀開業を祝う花火をはじめ、約 1 万発の花火を打ち上げ、過去最多に並ぶ約 22 万人の皆様楽しんでいただくことができました。

関係機関や市民の皆様のご理解と御協力により、無事に終了することができましたことに対し、ここに改めて感謝申し上げます。

また、今月 1 日から 4 日間にわたって開催された敦賀まつりは、台風の接近に伴い降雨となる時間帯もありましたが、カーニバル大行進をはじめ、山車巡行等の伝承行事や民謡踊りの夕べなど、すべての催しが無事に執り行われました。

昨年に引き続き開催した北陸新幹線敦賀開業記念特別イベントについて

ても、沿線自治体の観光物産展やご当地アイドルによるステージイベント等を通じ、まつりの盛り上がりには華を添えることができました。

御参加いただいた市民の皆様や御協力、御尽力いただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。

ところで、先月 8 日、宮崎県日向灘を震源とするマグニチュード 7.1 の地震が発生し、宮崎県では震度 6 弱を観測するとともに、複数の負傷者や建物被害がもたらされました。被災された方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

この地震を受け、気象庁からは、南海トラフ地震の想定震源域で新たな大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まっているとして、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が初めて発表されました。

福井県では、南海トラフ地震防災対策推進地域に指定された市町はありませんが、巨大地震が発生した場合の本市の最大震度は、5 強と想定されています。

こうしたことから、本市では、R C N、市ホームページ及び公式 SNS を通じて、いざというとき、適切な行動ができるように、家族との連絡

手段の確認や家具の転倒防止、非常持ち出し品の準備など、市民の皆様に対し、地震への備えを改めて呼びかけたところです。

また、今月 8 日からは、新たに各世帯に配布した津波ハザードマップを活用した適切な避難行動に関する説明会を各地区において順次開催するとともに、引き続き、防災・減災の取組を進めてまいります。

それでは、当面する市政の課題とその対応について申し上げます。

まず、子育て環境の充実についてです。

現在、本市における子どもの医療費助成制度は、未就学の子どもについては医療費を全額助成する一方で、小学生から高校 3 年生相当までの子どもについては、一部自己負担としています。

今後、これまで以上に子どもの疾病の早期発見と治療を促進し、子どもの健康と福祉の増進を図ることを目的として、県内他自治体の動向も踏まえ、令和 7 年 4 月から小学生以上の子どもについても自己負担金を廃止したいと考えています。

今議会では、制度変更に伴うシステム改修や受給資格者証の発行等に係る経費を補正予算に計上するとともに、子ども医療費の助成に関する条

例改正案を提出しました。

また、令和５年４月に施行されたこども基本法において、各自治体は、国が定めた「こども大綱」を勘案して「こども計画」を定めることが努力義務化されました。今後、本市においても「こども計画」の策定に取り組みたいと考えており、今回の補正予算では、こどもや若者の意見を計画に反映させるため、ウェブアンケート調査やワークショップ実施に係る経費を計上しました。

さらに、教育環境の充実も進めていきます。

近年は、夏場、厳しい暑さとなる日が増えていますが、市内小中学校の体育館には空調設備が設置されていないことから、熱中症の危険性もあり、授業や部活動の実施に支障を来している状況にあります。

また、各小中学校は指定避難所としての役割も担っており、避難所環境の改善という面からも対応が必要です。

これらのことから、今後、小中学校体育館への空調設備導入について検討を進めることとし、今回の補正予算では調査に係る経費を計上しまし

た。

次に、北陸新幹線敦賀開業後の観光誘客への取組についてです。

新幹線開業から約半年が経過しました。この期間内に市の観光施設を訪れた人数については、前年同時期との比較で約1.5倍と概ね堅調な伸びを維持しており、今後も引き続き観光誘客に取り組んでいきたいと考えています。

このような中、去る6月28、29日に北海道釧路市で開催された「北前船寄港地フォーラム」において、能登半島地震の復興支援として、次回の開催地を北陸とすることが決定されました。福井県及び本市をはじめとする関係市町もその趣旨に賛同するとともに、新幹線開業後の嶺南振興策のひとつと位置付け、11月の開催に向け準備を進めます。

また、新幹線の開業に合わせ、様々なメディアで敦賀市を取り上げていただく機会が増えています。テレビ番組で紹介された店舗の中には、翌日から行列ができるほどの盛況ぶりとなったところもあるとお聞きしており、改めてメディアを通じた情報発信の有効性を実感しているところです。

そのため、今回、北陸新幹線敦賀開業1周年を記念し、新幹線の沿線地である北関東等を対象として、敦賀の魅力を再発信するテレビ番組を制作し、更なる観光誘客に繋げていきたいと考えています。

さらに、今月2日には「第2回敦賀まちづくり協議会」を開催し、アクションプログラム策定に向けた幹事会等での協議状況の報告や、金ヶ崎周辺整備に関する意見交換を行いました。

この中で、今後の観光面を含めたまちづくりの実施体制として、事業の拡大とスピードアップ、運営の効率化を目的に、一般社団法人敦賀観光協会と港都つるが株式会社の一体化を基本とした「新たなまちづくり会社」が必要との認識を共有したところです。

このまちづくりの実施体制につきましては、これまで業務内容や組織体制について、敦賀観光協会と港都つるがの両方で意見交換を行っており、引き続き専門家の意見も踏まえながら、来年春頃の新会社設立を目指して、業務の整理、拡大等の検討や組織体制の強化について協議を続けてまいります。

次に、原子力政策についてです。

敦賀発電所２号機の原子炉設置変更許可申請に関しては、８月２８日の原子力規制委員会において新規制基準に適合していると認められないとする審査書案が了承され、現在、パブリックコメントが実施されています。

パブリックコメントの結果を踏まえ、改めて判断がなされることとなりますが、日本原子力発電としては、敦賀発電所２号機の稼働に向けて、追加調査やデータの拡充等に取り組むとともに、今後の対応について検討することですので、原子力規制委員会とも丁寧にコミュニケーションを図りながら十分に検討いただき、対応等について、市民にも丁寧に御説明いただきたいと思います。

ただいま申し上げました諸事業に加え、今回の補正予算案のうち主なものについて申し上げます。

まず、市内公共施設においては、トイレの洋式化が不十分な状況にあります。今後、各施設の利用者数や年齢層などを勘案して、計画的にトイレの洋式化を進めていくこととし、今回は、利用者が多く、また、利用団体や利用者からの要望が強い総合運動公園体育館の改修費用を計上しまし

た。

次に、西公民館建設事業についてです。

現在の市立敦賀病院駐車場に移転新築を予定している西公民館につきましては、防災面を強化した公民館を目指し、地元建設委員会において議論を重ねているところです。今回、令和9年度中の供用開始に向けて、実施設計等に係る経費を補正予算に計上しました。

次に、今年度当初予算において債務負担行為を計上した防災行政無線の改修費について、建設資材及び労務単価等の上昇に伴い、限度額を増額する予算を計上しました。

これらの結果、今回提出した一般会計の補正予算案の規模は1億7,852万8千円、本年度予算額の累計は419億4,020万3千円となります。

その他の議案につきましては、令和5年度の各会計における決算認定の件のほか、それぞれ議案書に記載の理由に基づき提案しました。

また、本市に寄せられました寄附金品につきましては、別紙お手元に配

布のとおりです。その御厚志に対し、市民を代表して厚く御礼を申し上げます。

以上、今回提案した予算案などについて御説明申し上げました。何卒慎重に御審議をいただき、妥当なる議決を賜りますようお願い申し上げます。